

東邦音楽大学・東邦音楽短期大学
自己点検・自己評価報告書 (第9号)
(平成27年度 教育に関する項目)

ー建学の精神を踏まえ教育改革に取り組み、

世界基準で音楽人を育てるー

平成28年8月
(学) 三室戸学園

東邦音楽大学・東邦音楽短期大学自己点検・自己評価報告書の作成

あたって

東邦音楽大学・東邦音楽短期大学は、それぞれ学則に「教育活動等の状況について自ら点検・評価を行う」ことを定めています。

これまで、数次にわたり自己点検・評価を実施してまいりましたが、これは、本学の教育が建学の精神である「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格の形成を目途とする」ことを踏まえて行われているか、また、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの3ポリシーが建学の精神に叶っているか、そして実践的教育の場において、その質の維持・向上を図っているかを定期的に点検・評価することが目的であります。

本学では、これまでの自己点検・評価に加えて、今回から外部点検・評価を実施いたしました。

本報告書は、外部の方からの点検・評価及び自己点検・自己評価の結果をまとめたものであります。

東邦音楽大学・東邦音楽短期大学は、今後も教育改革に取り組み、教育の質をこれまで以上に高め、有為な人材を育成してまいります。

平成28年8月

東邦音楽大学・東邦音楽短期大学

学 長 三室戸 東 光

東邦音楽大学 教育改革への取組みに関する評価表
(平成27年度事業分)

評価点：5＝教育改革が大きく進んでいる。

4＝教育改革が順調に進んでいる。

3＝おおむね教育改革が進んでいる。

2＝教育改革がやや遅れている。

1＝教育改革が遅れている。

評価校	東邦音楽大学	
評価者	外部評価 (ふじみ野市教育委員会教育部長)	自己点検・自己評価特別検討 委員会大学部会
評価項目	評 価 点 数	評 価 点 数
1.入学者選抜	5 ④ 3 2 1	5 4 ③ 2 1
2.カリキュラムの 内容・学修方法・ 学修支援	⑤ 4 3 2 1	5 ④ 3 2 1
3.学修成果	5 ④ 3 2 1	5 ④ 3 2 1
4.教員組織	5 ④ 3 2 1	5 ④ 3 2 1
5.施設・設備	⑤ 4 3 2 1	5 ④ 3 2 1
6.社会貢献	⑤ 4 3 2 1	⑤ 4 3 2 1

○ふじみ野市教育委員会教育部長のコメント

本市の小中学校児童・生徒は、毎年東邦音楽大学を訪問し、音楽鑑賞教室を実施しております。その際、教室の内容や訪問に関するさまざまな準備等にご指導いただいております。常に、大学の建学の精神、教育理念の素晴らしさを肌で感じております。また、年間を通して、学生さんには、本市のさまざまな行事、事業にご参加いただき、演奏・音楽指導を通して盛り上げていただいております。

そうしたことから特に、社会貢献に対する意識の高さを強く感じております。

○大学部会の評価点数の主な根拠

1.入学者選抜

平成 28 年度入試から「管楽器・弦楽器特別特待生入学試験を実施（オーボエ 4 名入学）
（音楽大学として、オーケストラを構成する上からも必要な学生の確保のための入試を実施）

2.カリキュラムの内容・学修方法・学修支援

全教員がオフィスアワーを開設

3.学修成果

カリキュラムマップを作成、学修時間調査の実施、定期演奏会、卒業演奏会等での成果の発表

4.教員組織

教育の質の向上を目的とした「ベストティーチャー賞」を創設

5.施設・設備

構内の芝生化、樹木の植栽など環境保護の促進

6.社会貢献

地元の小学校の児童を対象にした音楽鑑賞会など多数のボランティア演奏会を開催

東邦音楽短期大学 教育改革への取組みに関する評価表
(平成27年度事業分)

評価点：5＝教育改革が大きく進んでいる。

4＝教育改革が順調に進んでいる。

3＝おおむね教育改革が進んでいる。

2＝教育改革がやや遅れている。

1＝教育改革が遅れている。

評価校	東邦音楽短期大学									
評価者	外部評価 (文京区アカデミー推進課長)					自己点検・自己評価特別検討 委員会短期大学部会				
評価項目	評 価 点 数					評 価 点 数				
1.入学者選抜	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
2.カリキュラムの 内容・学修方法・ 学修支援	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
3.学修成果	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
4.教員組織	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
5.施設・設備	5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
6.社会貢献	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1

○文京区アカデミー推進課長のコメント

短期大学として独自の特色をしっかり主張している。入学者数についても、独自のカリキュラムの提供により、安定的な入学者数の確保に努めている。

また、本区における2か月に1回の割合で開催している「シビックコンサート」を通じて区民に質の高い音楽を提供するなど、地域における社会貢献活動についても積極的な展開を行っている。

○短大部会の評価点数の主な根拠

1.入学者選抜

AO入試、推薦入試、一般入試に加え、社会人入試を実施

2.カリキュラムの内容・学修方法・学修支援

全教員がオフィスアワーを開設

3.学修成果

カリキュラムマップを作成、学修時間調査の実施、定期演奏会、卒業演奏会等での成果の発表

4.教員組織

教育の質の向上を目的とした「ベストティーチャー賞」を創設

5.施設・設備

耐震基準を満たさない建物を撤去、トイレの改修等安心安全なキャンパスを実現

6.社会貢献

都立大塚病院、NECチャリティーコンサートなど多数のボランティア演奏会を開催

平成 27 年度 事業実施報告書

1. 概 要

我が国の高等教育機関とりわけ私立大学・短期大学を取り巻く環境は年々厳しさを増している。特に 2018 年（平成 30 年）以降は 18 才人口のさらなる減少が確実であり、大学間のより厳しい学生獲得競争の激化が見込まれている。

中等教育機関については、その学齢人口の減少は、すでに到来しており、高等教育同様に厳しい生徒獲得競争になっている。

本学園は、創設以来「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格の形成を目途とする」ことを建学の精神・理念として掲げ、①一貫教育の実践 ②少人数制教育 ③国際化の推進 ④地域社会との交流という 4 つの教育方針の下に、小規模大学の特色を活かし、学生・生徒それぞれの思いとニーズをしっかりと受け止め入口から出口まで面倒見の良い学園として、個に応じた教育・指導等を実践している。

また、学園として健全かつ安定した教育や学校運営のために、学生・生徒の確保に全力を挙げて取り組んでおり、大学院、大学及び短期大学については、徐々にその成果を挙げつつある。

しかしながら、大学については、入学定員と入学者数及び収容定員と在籍者数をそれぞれ比較すると、大きく定員を割っており、財務状況が改善できない大きな原因になっている。

附属中学校・高等学校及び第二高等学校については、いずれも生徒数が定員を満たしていない状況にある。

一方、教育改革への取り組みについては、本学園は平成 27 年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ 1：大学及び短期大学、タイプ 2：大学）に採択された。

これは、本学園が取り組んできた教育改革について、文部科学省及び日本私立学校振興・共済事業団から高い評価を得たことによるものである。

また、附属中学校・高等学校においては、平成 27 年 7 月から文部科学省の国際理解教育事業である JET プログラムにより、米国から英語指導助手 1 名を受け入れ、国際理解教育の質の向上を図っているところである。

平成 28 年度は、全ての設置学校における学生・生徒の充足及び徹底した経費削減による財政収支の安定化を学園全体の喫緊かつ重大な課題として、全教職員が一層の危機感を持って取り組むとともに、理事長・学長のリーダーシップの下に更なる教育改革の推進を図ることとしている。

なお、第二期中期計画（平成 24 年度～平成 28 年度 5 年間）については、その計画を評価検証し、1 年前倒しで第三期中期計画（平成 28 年度～平成 32 年度）を策定・実施することとした。

2. 事業計画の推進状況

○平成27年度の主な新規事業

(1) 教育改革の推進

平成27年度については、これまでの様々な教育改革に加えて次の施策を実施、策定した。

①全教員が両キャンパスにてオフィスアワーを開設

大学、大学院及び短期大学生に対して、よりきめ細かい教育指導を行うため、非常勤講師を含めた全ての教員が、全キャンパスにおいて、オフィスアワーを設けることとした。

②ベストティーチャー賞制度の創設

大学・大学院及び短期大学において、教員の教育面における評価の一環として、質の高い授業等の教育を行っている優秀な教員を顕彰するとともに本学の教育の質を高めることを目的として制定した。

③FD・SD研修の充実

例年8月に実施しているFD研修に文部科学省から講師を招き、職員も参加したFD・SD研修を実施した。

なお、SD研修については、6月及び7月にも実施した。

(2) 入試改革について

入試について、大学、短期大学は、一般入試、推薦入試、AO入試に加え、社会人入試など受験生のニーズに沿った入学試験を行い、学生の獲得に努めている。

平成28年度入試（平成28年4月入学）においては、新たに、オーケストラ等を育て、強化することを目的に「管楽器・弦楽器」特別特待生入学試験を実施した。本試験により入学した学生は、入学金及び授業料が一部免除される。

本試験には、4名（オーボエ）が出願し、4名が入学した。

(3) 学生獲得を中心とした広報入試センター実施事業について

①大学見学会

11/2日（日）に「大学見学会」を開催（大学のみ開催）

目的：本学の特徴ある教育プログラム・カリキュラム・システム、指導方針を、特に音楽科を持つ高校の生徒と教員に知って、体験していただき受験生確保に繋げる。

内容：大学概要説明、特徴ある教育プログラム紹介、体験授業（参加型）、公開レッスン、学生コンサート 他

②入試対策講座

10/10（土）、24（土）に開催（大短共通として文京キャンパスにて実施）

目的：平成28年度入試より「楽典」試験が追加されたことを受けて、傾向と対策を周知するとともに受験生確保に繋げる。

内容：楽典、ソルフェージュ、小論文の傾向と対策。面接・面談対策。AO入試のポイントと対策

③高大接続（連携）

6/23（火）附属高校、6/30（火）附属第二高校、10/14（水）附属高校、附属第二

高校、11/18（水）附属高校、附属第二高校、ピアノ部会、1/27（水）附属高校、附属第二高校、声楽部会、2/3（木）附属高校、附属第二高校、声楽部会

目的：附属中高大一貫教育の更なる充実を目指し、情報共有と生徒学生募集の協働を行いながら、附属高校生の大学、短大への進学率を高める。

内容：意見交換、提案事項 他

④産学連携

4/14（火）NEC ネットエスアイ来校、5/11（月）NEC ネットエスアイ訪問、9/17（木）出演者事前交流会、10/7（水）チャリティーコンサート本番、11/24（火）NEC ネットエスアイと文京博覧会打ち合わせ、11/26（木）文京博覧会出展準備、11/27（金）・28（土）文京博覧会

目的：良き企業市民としての社会貢献活動を目指す NEC ネットアイ株式会社と音大生が音楽を通じ現代社会の一端を実感する機会を持ち、東日本大震災チャリティーコンサート募金活動にも参加しながら企業と大学の連携を深める。

内容：企画、構成、事前交流会、産学連携チャリティーコンサート、終演後親睦会、学生感想レポート提出 他

（4）関係機関との連携協定について

平成27年度において、本学園の教育の質の向上に資すると共に社会への貢献に寄与することから、次の機関と連携協定を締結した。

- ①新国立劇場
- ②東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
- ③全国音楽系大学コンソーシアムへの参画

（5）学生支援について

従来の奨学金制度に加え、平成27年度から、「東邦音楽大学河野顕奨学金規程」を制定した。本奨学金は、河野顕氏の功績を湛えるとともに、東邦音楽大学において音楽療法を学び、将来音楽療法士として社会に貢献しようとする意欲のある学生を支援するためのものであり、その原資は、河野氏のご遺族のご厚意に基づいている。

（6）国際交流について

①附属中学校・高等学校は、平成27年7月から、文部科学省の国際理解教育事業である JET プログラムにより、米国から英語指導助手1名を受け入れ、英語教育や国際理解教育の質の向上を図っているところである。

②平成27年11月24日に CIS（独立国家共同体）音楽大学の学長等9名（同行者を含め計21名）が、本学園を表敬訪問した。

当日は、理事長・学長の歓迎挨拶、中村統括による本学の概要説明を行い、その後文京キャンパスの見学が行われた。



【写真】三室戸理事長・学長（中央）がCIS音楽大学の学長に本学園の概要を説明

(7) 管理・事務組織の充実について

平成27年8月1日に、従来の「演奏室」を再編し「地域連携・演奏センター」を設置した。

この再編により、これまでの地域連携をより充実した組織体制を構築した。

○平成27年度の主な継続事業

(1) 教育改革の推進

学園として、社会や国民の大学に対するニーズや期待に応えるため、中央教育審議会答申等を踏まえて、学長のリーダーシップの下に大学及び短期大学について、これまで以上に教育改革を推進した。

その結果、平成27年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ1：大学及び短期大学、タイプ2：大学）に採択された。

(2) 教育方法及び教育内容等の改善充実について

学園では、大学等で実践する音楽教育が世界で通用する音楽教育、いわゆる「世界基準の音楽教育」として、国内外で活躍できる音楽家・音楽人を育てるとともに、社会で活躍できる人材を養成するため ONE to ONE の教育システムによる教育活動を行うとともに、大学・短期大学においては、特色ある授業の一つである「東邦スタンダード」を通して入り口から出口までの一貫した人づくり、人間教育を実践している。

① 教育方法・内容等の見直し

1) セメスター制・GPA制度等の実施

学生の修学時間の少なさ等が指摘されている中、本学においても学生が主体的に学修に取り組み、集中して履修し評価されることにより、より学修効果が高まるようにするとともに、入学後の多様な学修計画に即した科目履修に対応できることとするため、平成25年度の試行的実施を踏まえ、平成26年度からは完全セメスター制（半期完結型）を導入している。

学生の学修時間の実態調査については、従来から実施している「授業・レ

ッスン欠席調査」に加えて、「学修時間調査」を引き続き実施し、この結果については学生の教育指導等に活用している。

2) 実技レッスン時間の延長

大学・短期大学及び附属中・高等学校について、実技の向上を図るため、平成 25 年度から実技レッスンの時間について見直しを行ったが、平成 26 年度からは学生の練習環境の改善を図るため、授業時間後の学内における実技練習時間についても拡大している。

・学内での練習時間

7:30 ～21:00（土曜日は 20:00）

② 少人数制のきめ細かな指導の推進

社会構造の急激な変化に伴い家庭の在り方も変容するとともに、入学者選抜方法も多様となり、入学してくる学生・生徒に質の変化や目的意識の曖昧さ等が年々多く見受けられるようになってきている。学園では、教務部長、学生部長を中心として、学生相談室、カウンセラー室等の担当部門だけではなく全学組織をあげて対応するとともに、音楽大学の特色である実技科目の個人指導の際においても、学生からの相談に随時対応するなど組織体では補えない個別の問題についても常に相談出来る体制をとっている。

また、クラス担任制の導入やレッスン記録簿の作成・活用により、学生に対する指導の充実を図っているほか、学生相談員（学生相談室）や心理カウンセラーによる指導、助言等により様々なハラスメントの防止や心のケア等を行い学生生活に対する支援活動を推進した。

なお、本学は、大学及び短期大学とも学生数に比して開設科目、開講クラス共に多く学生が幅広く選択し学べる体制をとっている。また、平成 27 年度における専任教員（特任教員を含む。）1 人当たりの学生数は、大学で 5.6 人、短期大学で 11.1 人になっており、一人一人に目の届くきめ細かな少人数教育を実践するなど学生にとっては恵まれた教育環境にある。



【写真】ピアノの個人レッスン

③ 特設コースによる充実した教育

平成 26 年度から大学に「演奏家コース」と「教職特設コース」という将来の目的を明確にした学生のニーズにあった二つのコースを設置した。

「演奏家コース」は、将来演奏家を目指し、また海外留学することを目指す学生のために必要なカリキュラムを設定するとともに、ウィーン研修を各学年 2 回（4 年間で 8 回）実施するなど内容の濃いコースとなっている。

また、「教職特設コース」は、中・高等学校等の音楽教員として地域の中核として活躍することを志す学生のために、特に教職に関する科目、教育現場インターシップ等について充実を図ったコースとなっている。

〔平成 27 年度在籍者〕

- ① 演奏家コース 6 名（ピアノ専攻 3 名 声楽専攻 2 名、管弦打 1 名）
- ② 教職特設コース 14 名

④ クラス担任制による教育指導体制の充実

本学では、音楽大学又は音楽短期大学の学生として、入学してからの修学の内容及び方法から卒業に当たっての社会人としての考え方、卒業後の進路の在り方等、いわゆる入口から出口までのことに関して、各学年必修科目として「東邦スタンダード」科目を開講しており、この授業は本学の特色の一つとなっている。

東邦スタンダード科目の実施に当たっては、大学は 1 年から 4 年（短期大学は 1 年から 2 年）まですべてクラス担任を配置する、いわゆる「クラス担任制」を導入しており、学生個々の状況を見ながら指導を行っている。

また、クラス担任の教員については、指導力の向上等を図るために FD の一環として教員研修会を実施しているが、その内容も年々充実し確かなものとなっている。



【写真】東邦スタンダードの授業

⑤ 社会人等を対象とした長期履修制度

「長期履修制度」は、職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えた一定の期間にわたって、計画的に教育課程を履修して卒業するという制度である。学園は、これまで修学を希望する社会人や高齢者等を大学及び短期大学に積極

的に受け入れてきているが、短期大学についてより一層社会人の修学ニーズに応じていくために、学費や履修方法等について見直しを行っている。

この結果、社会人の入学希望者が増え、平成 28 年度の短期大学入学試験においては 13 名の社会人が合格し、長期履修希望者は、11 名（3 年履修 4 名、4 年履修 7 名）であった。

社会人学生の状況

年 度	社会人学生在学者数	左のうち、長期履修者数
平成 27 年度	37 人	32 人

⑥ 社会的奉仕活動（ボランティア活動）等への支援

学園は、「地域社会との交流」を教育方針の一つとしており、地域活動や社会貢献活動に積極的に取り組み、小・中学校の児童生徒のための音楽鑑賞教室の開催や病院・福祉施設等におけるボランティアコンサート等を実施しているが、年々地域や団体等からの要請が増加している。

特に、文京キャンパスの近隣にある東京都立大塚病院で実施している院内コンサートについては、大塚病院から感謝状が贈呈されている。

学生・生徒にとって、ボランティアコンサート等、他人（ひと）前で演奏することは、演奏マナー、企画力、奉仕の精神、社会性の涵養等様々な点において非常に有意義である。大学及び短期大学ではこれらボランティアコンサート活動を必修科目である「ヒューマンコミュニケーション」の単位のポイントとして位置付け、学生の積極的な参加を促している。

⑦ 社会的貢献活動の推進

大学の社会に対する責務の一つとして、地域社会との連携や社会貢献が求められている。学園では、大学等有している人的・物的資源を社会に提供し、社会や地域に貢献するための様々な活動を推進している。平成 27 年度は、前年度に引き続き、一流アーティストの演奏や学生・教員によるコンサート、中・高校生を対象としたコンテストや講習会等を実施したほか、埼玉マナビプロジェクトなど地方公共団体と連携した一般市民を対象とした公開講座を実施した。

なお、病院等におけるボランティア演奏等についても積極的に実施した。



【写真】南古谷ウインドオーケストラ第 5 回定期演奏会

⑧ 公開講座・公開レッスンの拡充

音楽を学ぶ学生・生徒にとって、一流アーティストの演奏を視聴したり、レッスンに触れたりすることは、知識・技術の修得や向上を目指す上において重要であり、かつ貴重なものである。

平成27年度は、ピアノ、声楽について公開講座等を実施したが、特にセミナーについては、卒業生等を対象として本学の教員が自ら企画、実施しているもので、「東邦ピアノセミナー（セミナーと実技指導で構成）」については、第9回目で3講座に延べ147名の参加があったほか、個人レッスン希望者も21人であった。

「声楽セミナー」は、第3回目で2講座に延べ100名の参加者があったほか、個人レッスンに15名の参加があった。両セミナーとも参加者からは高い評価を受けるとともに、学園と卒業生との連携においても成果をあげた。



【写真】大学院生、大学生、短大生、卒業生へのピアノ公開講座

⑨ 図書館の整備充実

図書館では、図書・資料等のコンピュータによる管理化や利用者のためのマニュアルの作成、学生・生徒ならびに教職員の利用状況等についての月次及び年次報告書を作成し、配布周知するなどにより、学生・生徒等へのサービス向上に努めている。

⑩ エクステンションセンターの活動及び施設の有効活用

エクステンションセンターは、本学講師に加え、外部講師を招いて多種多様な公開講座を開催している。

平成27年度は、集客力が大きな「0歳から親子で楽しむ音楽会」をはじめ22講座を開催し、557名の受講者を得た。

特に、「日本語・ドイツ語・イタリア語の声楽作品を歌う」については、受講者が92名と今までにない規模となり、大変好評を博した。



【写真】「日本語・ドイツ語・イタリア語の声楽作品を歌う」の講座

⑪ 川越ミュージックセンター

- ・平成27年度においては、新たにグループ対象の講座として、少年少女合唱団（仮称）を設立し、4名が参加した。
- ・東邦音楽大学附属第二高等学校と連携し、生徒の基礎力向上に努めた。

(4) 学生支援について

① 奨学金の給付

学園では、学業成績が優秀であるが経済的事由等によって修学が困難な学生・生徒に対して支援を行うため独自の奨学金制度を設けている。この奨学金は、返還を必要としない給付型の奨学金であるため学生・保護者にとって修学上大きな支えとなっている。

平成27年度は、27名の学生・生徒に対して総額7,960千円の給付を行った。

奨学金の種類	大学・大学院	短期大学	中・高校	計
東邦音楽大学・東邦音楽短期大学奨学金	9人	1人	—	10人
三室戸学園創立75周年記念奨学金	12人	1人	4人	17人

② アパート等借り上げのための補助制度

地方から大学等へ進学する者を支援するため、一都六県以外からの入学者で、大学（大学院を含む。）及び短期大学に入学するためにアパート等を借り上げる必要がある者に対して経費の一部を補助しており、平成27年度は17人（大学院4人、学部1人、短期大学12人）に対して総額2,040千円を補助した。

③ キャリア支援について

キャリア支援センターでは、川越キャンパス及び文京キャンパスにそれぞれに専任の職員を配置し、キャリア支援委員会と連携を取りながら、個別相談を軸に積極的に学生のキャリア支援及び進路（就職）相談や指導等を行い、学生の就職意識の向上に努めている。

平成 27 年度におけるキャリア支援センターへの学生の相談件数は、大学が 924 件（前年度 1,137 件）、短期大学が 577 件（前年度 554 件）、合計 1,501 件（前年度 1,691 件）となっており、大学在籍学生数の減少が訪問数に反映しているが、学生の就職に対する意識は維持されている。

なお、就職希望者に対する就職率は、大学が 87.5%（前年度 88.7%）、短期大学が 87%（前年度 86.7%）となっている。

④ 自治体、企業等との連携によるインターンシップについて

大学・短期大学生のインターンシップ制度も、単位制となってから 10 年目を迎えた。

インターンシップ先も自治体、企業など派遣先の分野も幅広くなってきており、参加する学生等の理解・関心も年々高くなっている。

平成 27 年度は、12 名の学生（大学生 8 名・短期大学生 4 名）がインターンシップに参加したが、前年度と比較すると大学生は横ばいだが、短期大学生の参加が減少した。

インターンシップに参加する学生は、夏期休暇中にそれぞれ、自治体、企業等で 2 週間の職業体験を行い、その成果を平成 27 年 11 月 11 日（水）に川越キャンパスにおいて教職員・学生参加の下に行われた「インターンシップ体験発表会」において報告した。

〔インターンシップ先と参加学生数〕

インターンシップ先	大 学	短期大学	計
埼玉県川越市役所（職員課、産業振興課）	2		2
埼玉県ふじみ野市役所（西児童館）	1		1
東京都文京区役所（福祉課）		1	1
ヤマハミュージッククリテイリング銀座店	2	3	5
丸広百貨店（婦人雑貨売場）	1		1
KDDI 研究所	1		1
ディスクユニオン（CD ショップ）	1		
計	8	4	12

⑤ 優秀な学生・生徒を育成するための修学支援

学生の音楽に関する技術・技能をより一層向上させるため、大学及び短期大学等では開設授業科目のほか、定期演奏会、トライアルコンサート等様々な演奏会や公演の機会を設けている。さらに大学及び大学院では必修となっているウィーン研修（短期大学は希望者のみ）においては、ウィーン国立音楽大学の教授陣やウィーンフィルハーモニーのメンバーから直接指導を受けることができることとなっている。

また、学部卒業後より高度な知識と技能の修得を目指す学生のために大学院音楽研究科（修士課程）を設置しているほか、大学等を卒業後、実技等について更なる向上を目指す者のために東邦音楽大学アドバンスコース及びエクセレントコースを設け指導に当たっている。

なお、学園では、優秀な学生生徒を入学させ、その資質を伸ばし育てていくために「特待生制度」を導入しているほか、特に優れている学生については将来国内外で活躍できる人材として育成するための「特別研修奨学生制度」を設け、現

在 2 名の学生が給付されている。

⑥ 留学生に対する修学支援の実施

学園は、中国語に堪能な職員を大学事務室に配置し、留学生に対する学生生活や修学等に対して相談等に応じているほか、留学生の受け入れに当たっては必要に応じ現地での入学試験も実施している。また、学費についても入学料及び授業料について留学生を対象とした特別軽減措置を講じるなど、積極的に受入れや修学支援に取り組んでいる。

平成 27 年度は 4 名（大学）の留学生を受け入れた。この結果、平成 27 年度における大学院・大学・短期大学等における留学生数は 9 名（全員中国からの留学生）となった。

⑦ 基礎力向上のための入学前・入学後教育の実施

多様な入試形態の実施や入学してくる学生・生徒の気質や考え方の変化に伴い、音楽基礎力が不足している学生の入学も増加しており、このことが入学後の修学あるいは学生生活において問題や支障を来す要因にもなっている。このため、AO入試による入学者については入学前にスクーリング（2 回～4 回）を実施し、楽典・ソルフェージュの基礎力養成のための学習を実施している。

また、入学後にはソルフェージュによるクラス分けを行い、力不足が見られる学生については基礎クラスにおいて基礎力の向上を図っている。

(5) 国際化の推進について

① 海外演奏会等による国際交流活動

大学では、4 年次に必修科目として卒業演奏（海外における演奏）を実施しているが、平成 27 年度はハンガリー（ブダペスト市）を訪れた。ブダペストにおける演奏会では、学生による器楽アンサンブルや合唱劇「なめとこ山の熊」のパフォーマンスを行い、日本の文化や音楽芸術を伝えるとともに、現地の人々との交流を通じて音楽人として豊かな感性を育み、また海外の文化についても知識を広げることができた。また、音楽を通してハンガリーとの友好の輪を広げ日本の音楽大学としての国際交流の役割を果たした。

〔海外演奏旅行の概要〕

日 程	平成 27 年 10 月 15 日（木）～ 10 月 22 日（木）
訪 問 国	ハンガリー（ブダペスト市）
演 奏 日	平成 27 年 10 月 11 日（土）
演 奏 会 場	イタリアン インスティテュート
指 揮	・器楽アンサンブル（指揮 加古 勉教授） ・合 唱（指揮 藤井宏樹特任准教授）



【写真】大学4年生卒業演奏会「器楽アンサンブル」
(於：ハンガリー)



【写真】大学4年生卒業演奏会「合唱『なめとこ山の熊』」
(於：ハンガリー)

② 世界遺産トーチランコンサート（ユネスコパートナーシップ事業）

東邦音楽短期大学城之内ミサ特任教授は、ユネスコ・パリ本部から『ユネスコ平和芸術家（UNESCO Artist for Peace）』に任命され、音楽を通じて様々な平和活動を世界中で行っている。

《世界遺産トーチランコンサート》は、ユネスコパートナーシップ事業として、城之内ミサ特任教授が、世界平和、世界遺産・環境保護、教育を目的に世界各国で展開しているものである。世界遺産トーチランコンサートには、附属東邦中・高等学校の生徒が合唱団として参加し、そのさわやかな歌声は多くの聴視者に感動を与えている。

[平成27年度世界遺産トーチランコンサート]

(附属中・高等学校生徒が参加したもの)

年 月 日	会 場
6月19日	東京国際空港旅客ターミナル [EDO HALL]
7月17日	東京国際空港旅客ターミナル [EDO HALL]
8月14日	東京国際空港旅客ターミナル [EDO HALL]
10月16日	東京国際空港旅客ターミナル [EDO HALL]
11月27日	三菱自動車工業本社ビル
12月20日	スタジオ「グリーンバード」(合唱CD録音)
1月8日	東京国際空港旅客ターミナル [EDO HALL]
2月5日	東京国際空港旅客ターミナル [EDO HALL]
3月26日	成城学園前成城コルティ

3. 管理運営等

(1) 職員の資質・知識・技術等の向上及び事務の効率化

学園及び大学等の職員としての資質、知識・技能の向上を図るため、事務系職員をできるだけ学内の会議や委員会等に参画させ、学園の現状や課題等について認識させ、自らの課題として取組むよう意識改革を図るとともに、大学等を取り巻く社会情勢や変革に対応できる知識や情報等を修得させるために学外の会議・研修会にもできる限り参加させている。

[平成27年度 会議・研修会等への参加状況]

開催日	会議・研修会等
5月8日	東京都私立短期大学協会 春季フォーラム
5月14日	日本私立短期大学協会 春季定期総会
5月21日	埼玉県学事課 教頭・事務長会議
5月22日	川越市中心地活性化協議会
5月25日	埼玉県主催 就学支援金事務説明会
5月25日	アート&クリエイティブ企業説明会
5月28日	東京都主催 就学支援金事務説明会
5月28日	埼玉県インターンシップ推進協議会
6月1日	埼玉県インターンシップ新システムガイダンス
6月6日	文科省 大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会
6月6日・7日	大学教育学会主催 シンポジウム/ラウンドテーブル等 「ところで学生は本当に育っているのだろうか？」
6月9日	埼玉県インターンシップマッチングフェア
6月13日・14日	NPO 法人 NEW VERY 主催 講演・研修会 「これからの大学人事戦略を考える～いかに大学改革チームを組成するか～」～私立大学～
6月16日	学生支援機構全国キャリア・就職ガイダンス
6月19日	私大協 第58回関東地区連絡協議会
6月26日	東京しごとセンターキャリア担当研修会

7月3日	大学行政管理学会主催 講演・研修会 「大学のガバナンス改革と職員の役割」 文科省 義本博司様 他
7月14日	大学のグローバル化戦略の実現に向けて
8月27日	埼玉県私学振興財団 約款の改正及び事務手続きに関する説明会
8月29日	日本学生支援機構 障害学生支援ワークショップ
9月4日	私大協 私立短期大学図書館教職員研修会
9月5日・6日	大学行政管理学会主催 定期総会と研究集会 「未来の社会を元気にするために大学ができること」
9月6日	東京学芸大学教員養成評価開発研究プロジェクト主催 教員養成課程のアクレディテーションの活用に向けて
9月14日	関越地域大学グループ夏期合宿
9月16日	東京都主催 私立学校経常費補助金事務説明会
9月18日	NPO 法人 NEW VERY 主催 職員ミドルマネージャーの本気を引き出す！ 高大接続の現場から見る職員の役割と課題
9月30日	日本国際教育支援協会主催 学生教育研究災害傷害保険説明会
10月5日	日本学生支援機構主催 全国障害学生支援セミナー「体制整備セミナー」
10月20日	埼玉県インターンシップ推進協議会
10月21日	NPO 法人 NEW VERY 主催 「教育の質保証」実践セミナー
10月22日	文科省主催 文京施設セミナー「未来につながる学校づくりセミナー」
10月23日	マイナビ セミナー
10月28日	第4・5・6・7支部合同税務研修懇親会
11月5日	東京新卒ハローワーク就職連絡会議
11月7日	日本音楽療法学会主催 日本音楽療法学会 第5回受験認定各位との懇談会（会議）
11月11日	埼玉県教育委員会主催 教職養成課程を有する大学との連携協議会
11月13日	ディズニーマナーセミナー
11月13日	防災セミナー
11月14日	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた芸術系 大学の連携の在り方に関する懇談会
11月14日～17日	日本学生相談学会主催 全国学生相談研修会
11月16日	私立大学協会主催/平成27年度教育学術充実協議会（講演） 「高大接続改革と私立大学」
11月16日	私大協 教育学術充実協議会
11月18日	関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第3部会 第2回「研究会」
11月20日	私大協 第59回関東地区連絡協議会
11月24日	日本私立大学団体連合会 私立大学振興大会

11月 24日	全国芸術系コンソーシアム（仮称）設立準備会
11月 25日	東京都私立短期大学協会 秋季フォーラム
11月 25日	東京都私立短期大学協会 秋季定例会員総会
11月 25日	東京都私立短期大学協会フォーラム
11月 28日	ベネッセ シンポジウム
11月 28日・29日	大学教育学会主催 課題研究集会 「連携から広がる時代の大学教育」 課題研究：アクティブ・ラーニングについて研究結果発表等
12月 7日	千葉大学アガテ ミックソクセンター主催 ALPS プログラムキックオフシンポジウム 文科省 辻邦章様/桜美林大 篠田道夫様 等
12月 10日	教員免許取得希望者の社会福祉施設における 介護等体験事業 学校説明会
12月 11日～13日	愛媛大学主催 SD コーディネーター養成研修会
12月 14日	全国芸術系コンソーシアム第1回設立準備会
12月 16日	厚労省「Lo活プロジェクト会議」
12月 19日	関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2015年度 第2回研究懇話会及び情報交換会
12月 21日	メンタルヘルス 子ども理解セミナー
12月 21日	文部科学省主催 教職課程 課程認定等に関する事務担当者説明会
1月 22日	全国芸術系コンソーシアム（仮称）第2回設立準備会
1月 15日	私大協 関東地区連絡協議会「新春講演会」「新年賀詞交歓会」
1月 29日	東京都私立短期大学協会 就職担当者意見交換会
1月 29日	文科省主催 学校法人運営協議会
1月 29日	東京都私立大学協会主催 就職担当者意見交換会
2月 10日	飯田橋ハローワーク主催 障害者雇用促進セミナー
2月 15日	三井住友銀行学校推薦採用説明会
2月 15日	学生支援機構 体制支援整備セミナー
2月 15日	川越市中心活性化協議会主催 中心街活性化協議会
2月 16日	学生支援機構 奨学金事業部会
2月 17日	埼玉インターンシップ協議会主催 埼玉インターンシップフォーラム打ち合わせ
2月 22日	マイナビ主催 就活スケジュール変更についてのシンポジウム 「申し合わせの真意」
2月 23日	障害・求職雇用支援機構 障害者雇用納付金制度事務説明会
2月 28日	yamaha music media 主催 「音大卒の戦い方」出版記念シンポジウム[キャリア支援] 「音大生の武器と戦い方」 大内孝夫様
2月 29日	埼玉インターンシップ協議会主催 埼玉インターンシップフォーラム（当日）
3月 3日	全国芸術系大学コンソーシアム／文化プログラム WG 音楽準備

	部会（仮称）
3月3日	東京都主催 就学支援金事務説明会（平成28年度向け）
3月4日	東京都私立短期大学協会 認証評価等研修会
3月4日	システム研究機構 情報セキュリティーセミナー
3月9日	日本学生支援機構主催 「キャリア教育・就職支援」ワークショップ
3月24日	ふじみ野市との連絡協議会
3月25日	高等教育情報センター主催 AP・CP・DP ポリシーの進化と学習成果の検証Ⅱ-1 濱名篤先生・佐藤浩章先生
3月26日	高等教育情報センター主催 AP・CP・DP ポリシーの進化と学習成果の検証Ⅱ-2 文科省北岡龍也様・菊池重雄先生

(2) 同窓会（邦友会）・後援会との連携強化及び在学生・卒業生に対する支援活動

① 東邦音楽大学同窓会（邦友会）は、平成16年度に従来の組織を改め新たに再スタートし現在会員数は1,800人である。本学園は会員に対しては学園の情報誌「エコー」等を通じて様々な情報を提供している。

また、学園と卒業生との連携をより密にするとともに、入学者数の拡大を図ることを目的として導入している卒業生推薦入試において、平成28年度入試では大学に4人、短期大学に3人、中・高等学校及び第二高等学校に17人、合計24人が入学した。

② 東邦音楽大学・東邦音楽短期大学の学生及び大学に対する教育支援を目的として、大学・短期大学の父母保証人の有志からの働きかけにより、平成26年9月に「東邦音楽大学・東邦音楽短期大学後援会」が設立された。

平成27年度は、読売新人演奏会出演の学生に給付金を支給した。

今後は、学園と後援会の密接な連携を図り、学生の教育研究並びに学生生活に対する支援等について充実を図っていくこととしている。

(3) 業務の効率化・合理化及び勤務体制の見直し

学園の運営において業務の効率化、合理化は避けて通れない命題であり、絶えず業務の見直し等を行っているところであるが、平成27年度においても、教学及び演奏部門の事務や音楽学校、エクステンションセンターの事務について時差出勤や交代制勤務等を実施し、超過勤務の縮減や、業務の円滑実施に努めた。

また、派遣職員の期間満了を期に当該派遣職員を嘱託職員へ採用するなど、業務の円滑化を図った。

②学園の施設については、大学等の行事等に支障がなく、かつ社会的にも有効である場合は、学園の資源を積極的に社会へ提供し、社会や地域へ貢献するという学園の方針に基づき積極的に貸出等を行っている。

平成27年度については、施設等の貸出しによる収入は、約680万円であった。

〔平成27年度に大学の施設等を利用した団体等〕

○ 文京キャンパス

(社)全日本ピアノ指導者協会	
(有)IMC音楽出版(ショパンピアノコンクールインアジア)	
PTNA 文京音の泉ステーション	
大阪桐蔭高校吹奏楽部	
混声合唱団コールクライス	
トロンボーン・クアルテットジパング	
楷合唱団	
ベーテン音楽協会	
(株)ジュエル・ミュージック	
特定非営利活動法人「音楽ネットワーク」	ほか

○川越キャンパス

川越市立南古谷中学校	
日本音楽療法学会	
ふじみ野市立葦原中学校	
(株)東映テレビプロダクション	
ピティナ	
(株)ビデオフォーカス	
(株)日テレアックスオン	
川越市立今成小学校	
(株)イメージフィールド	ほか

(4) 広報入試センターの活動

広報入試センターは、学生生徒獲得のため、次のような事業を中心に活動を強化拡充した。

① 学校訪問の訪問校の精査と訪問強化

訪問校重点校を絞り、さらに S・A・B のランクに区分することにより、より重要性の高い優先校である認識を訪問教員で共有する。それにより訪問校とのパイプ強化を図る。訪問回数を2回～3回とする。

② 東邦インフォメーション&管楽器クリニックの拡大

従前、鹿沼東高校で開催していた東邦インフォメーション&管楽器クリニックを、春日部東高校での開催を追加。【10月25日(日)開催】

目的：吹奏楽部の生徒に各楽器の練習方法等の指導をすると共に、本学の説明を聞いて頂き受験生確保に繋げる。

内容：春日部東高校での内容は、高校側からの要望で鹿沼東高校とは異なり、アンサンブルクリニックとした。(春日部東高校以外にも1校、中学校2校も参加)

③ 附属高校「進学講座」の実施強化

高校3年間で6回の開催としていたが、今年度から7回の開催とした。

目的：附属生の大学（短大）進学率アップ

内容：大学・短大概要説明、特徴ある専攻・コース紹介、各専攻のレクチャーコンサート、学生コンサート&トーク、教員コンサート 他

4. 施設・環境の整備

(1) 文京キャンパスの施設・環境改善について

学生生徒の安全性を確保し、教育環境に相応しい施設とするため、文京キャンパスの校舎等の一部について耐震化を図ることとし、耐震診断の結果を踏まえ、第一講堂及び2A号館の解体工事が完了した。

また、温水洗浄便座付トイレに順次改修することとし、平成27年度からその一部の改修に着手した。

(2) 川越キャンパスの緑化及び環境整備

川越キャンパスにおいては、環境整備を図る観点から構内の芝生化や樹木及び花の植栽に努めるとともに、外来者等へのサービスや施設管理のために建物等の案内表示板や外灯の設置等を行っている。

(3) 環境保護に努めるためのリサイクル活動の推進

学園では、日頃から、リサイクル活動の一環としてゴミの収集・分別等について、教職員、学生・生徒に対して徹底を図っており、学生・生徒はこの趣旨に賛同し、特に演奏会や東邦祭等外部から多数の来学者がある場合、自ら率先してゴミの清掃等を行っている。

また、附属中・高等学校では、平成24年2月からNPO法人（内閣府認証）エコキャップ推進協会が行っている「ペットボトルのキャップを集めることで地球環境を改善する」、「世界の子どもたちにワクチンを送る」という活動の趣旨に賛同し、ペットボトルのキャップ回収運動を積極的に行っており、平成27年度においても約155,000個のキャップを回収した。

5. 安全管理

(1) 監視カメラの設置等

川越キャンパス及び文京キャンパスには監視カメラを設置し、事務室及び警備員室において監視を行うことにより、事故及び盗難並びに不審者等の侵入防止等、学内における安全確保に努めている。

(2) 火災及び地震等の自然災害への対応について

① 4月のオリエンテーションの際に、川越キャンパス及び文京キャンパスにおいてそれぞれ避難訓練を実施した。

また、9月1日（火）には「防火・防災対策委員会（委員長：理事長）」を開催した。委員会では、キャンパスごとに消防計画を策定し、自衛消防隊組織、地震及び火災発生時の対応等について確認するとともに、教職員に対する周知を図った。



【写真】 災害時の避難訓練で消防署員から指導を受ける附属中高生徒

② 東京都文京区との災害時における相互協力

平成 27 年 2 月に、学園が所在する文京区との間において、災害時における区民、在学者、在勤者及び文京区の区域内を訪れた者並びに学園の学生、生徒及び教職員等の安全確保を図るため、災害対策上必要な事項を定めた「災害時における相互協力に関する協定」を締結した。

③ 東京都及びその近県における地震等の災害が発生した場合の緊急対応のため、文京キャンパス及び川越キャンパスに簡易自家発電機及び非常食を配備している。

また、附属中・高等学校では東京都の「私立学校防災用品緊急整備費助成事業」により防災備品について整備を図った。

(3) 身体障害者や高齢者に配慮したキャンパスづくり

川越キャンパス 16 号館は、玄関口へのスロープの設置、車椅子利用者のため箱内に鏡を取り付けたエレベータの設置、身障者用トイレの設置など様々な措置を講じている。また、文京キャンパスでは正面玄関の階段には取り外し式のスロープ板を利用しているが、学園としては、今後とも身体障害者や高齢者に配慮にしたキャンパスづくりに努めることとしている。

また、平成 28 年 4 月 1 日に学内組織として「障害学生生徒支援センター（愛称：スマイルデスク）」を設置し、これまで以上に障害のある学生生徒への支援を強化することとしている。

6. 情報公開の推進

(1) 大学等の情報公開については、大学の責務として求められており、学園においてもキャンパス情報や入試等の情報、演奏会等の各種音楽活動等についてホームページや広報誌等を通じて、常に最新の情報を提供している。

なお、本学園のポートレートについて、平成 27 年 9 月 9 日付けの日本経済新聞にお

いて、その表記を工夫している私立大学の代表例として取り上げられた

(2) 学園は、毎年度ホームページにおいて「学校法人三室戸学園事業報告」を公開するとともに、平成 21 年度から教育情報や財務状況についても公開している。

また、東邦音楽大学及び東邦音楽短期大学における第三者評価資料「東邦音楽大学自己点検報告書」、「東邦音楽短期大学機関別評価結果」についてもホームページに掲載し公表するなど、積極的に情報の公開に努めている。

7. その他

(1) 概要でも述べたように、学園としての経営及び教育研究水準を維持するためには学生・生徒の確保が最重要課題であり、平成 28 年度入試について、関係部局が密接な連携をとりながら次のような事業を実施した結果、大学院は入学定員を確保したが、大学については非常に厳しい結果となった。

- ① 指定校給費制度
- ② 学校訪問
- ② オープンキャンパス
- ③ 進学説明会、キャンパス体験・見学会
- ④ 夏期・冬期・講習会
- ⑤ 社会人入学説明会（短期大学） 等

平成 27 年度は、広報入試センターの中に設けている「学生募集ワーキングチーム」と事務本部が連携を図りながら、これまで以上により具体的かつ効果的な活動を推進した。特に、大学及び短期大学については、年度開始から高等学校及びピアノ教室等の訪問について実効性のある方策により実施した。

なお、平成 28 年度から「広報入試センター」と「企画室」を統合することにより、学生生徒の確保の取り組みについて、一元的に行うことを現在検討している。

大学・大学院の定期演奏会

日程	演奏会名	会場
7月25日(土)	第187回 定期研究発表演奏会 〔大学・短大 ソロの部〕	東邦音楽大学グランツザール
10月4日(日)	東邦音楽大学・東邦音楽短期大学 第10回 トライアルコンサート～オーケストラとの共演～	東邦音楽大学グランツザール
11月21日(土)	第188回 定期研究発表演奏会 〔大学・短大 合唱の部〕	東邦音楽大学グランツザール
11月27日(金)	第189回 定期研究発表演奏会 〔大学・短大 オーケストラの部〕	めぐろパーシモンホール
12月15日(火)	ウエスタ川越オープン記念 第190回 定期研究発表演奏会 〔大学・短大 ウインドオーケストラの部〕	ウエスタ川越 大ホール
12月19日(土) 23日(日)	東邦音楽大学大学院 1年次生演奏会	東邦音楽大学グランツザール
1月17日(日)	中学生・高校生のための 第12回日本管弦打楽ソロ・コンテスト 受賞記念演奏会 ～文部科学大臣賞選考会～	東邦音楽大学グランツザール
1月27日(水)	第192回 定期研究発表演奏会 〔中・高・二高 ソロの部〕	東邦音楽大学グランツザール
2月20日(土)	東邦音楽大学大学院 修士課程学位審査修了演奏会	東邦音楽大学グランツザール
3月6日(金)	東邦音楽大学・東邦音楽短期大学 卒業代表演奏会	東邦音楽大学グランツザール



【写真】第188回定期研究
発表演奏会

日程	演奏会名	会場
5月16日(月)	TOHO Saturday Concert アンサンブル “ル・ブルジョン”	創立50周年記念館ホール
6月27日(土)	TOHO Saturday Concert 本学教授陣の演奏によるスペシャル編	創立50周年記念館ホール
9月5日(土)	TOHO Saturday Concert 弦楽四重奏曲・ピアノ五重奏曲	創立50周年記念館ホール
12月5日(土)	TOHO Saturday Concert 本学教授陣の演奏によるスペシャル編	創立50周年記念館ホール
1月30日(土)	TOHO Saturday Concert 弦楽四重奏曲	創立50周年記念館ホール
2月27日(土)	TOHO Saturday Concert エレクトーン ソロ&デュオ	創立50周年記念館ホール

依頼演奏・ボランティアコンサート

日程	演奏会名	会場
4月24日(火)	国際ソロプチニスト埼玉 40周年記念式典	川越プリンスホテル
5月2日(水)	ラ・フォル・ジュルネ	東京国際フォーラム
5月3日(木)	ラ・フォル・ジュルネ	東京国際フォーラム
5月4日(金)	ラ・フォル・ジュルネ	東京国際フォーラム
5月13日(日)	水曜学級開講式	鶴瀬西交流センター
5月16日(水)	つくばイオンモール 大井小学校フレッシュコンサート	つくばイオンモール 大井小学校体育館
5月17日(木)	キッチンコンサート	大東ガス展示プレイス
5月21日(月)	第226回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院
5月22日(火)	南古谷公民館主催会食会	東部地区ふれあいセンター
5月27日(日)	第222回シビックコンサート	文京シビックセンター
6月3日(日)	第50回西部地区吹奏楽研究発表会	所沢ミュージズ
6月5日(火)	第50回西部地区吹奏楽研究発表会	所沢ミュージズ
6月6日(水)	北関東甲信越音楽系高等学校演奏会	グランツザール
6月9日(土)	南古谷小学校音楽鑑賞教室	川越市立南古谷小学校
6月15日(金)	貞静幼稚園 音楽鑑賞会	貞静幼稚園
6月16日(土)	ふじみ野市立小・中学校音楽鑑賞教室	ふじみ野市立ふじみの小学校
6月17日(日)	ふじみ野市立小・中学校音楽鑑賞教室	ふじみ野市立ふじみの小学校
6月18日(月)	第227回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院 B1F ホール
6月19日(火)	Rising Artist Concert Vol6	ヤマハホール
6月26日(火)	青梅市音楽鑑賞教室	福生市民会館
7月8日(日)	愛和病院「8の日コンサート」	愛和病院
7月12日(木)	第5回南古谷ウインド定期演奏会	グランツザール
7月17日(火)	日私学保連 10周年記念式典祝賀会	市ヶ谷アルカディア
7月22日(日)	第224回シビックコンサート	文京シビックセンター
7月23日(月)	第228回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院 B1F ホール
7月25日(水)	第187回定期研究発表演奏会	グランツザール
7月26日(木)	氷川神社～縁結び風鈴イベント	氷川神社
8月1日(水)	南田島自治会納涼祭	南田島公民館
8月8日(水)	愛和病院「8の日コンサート」 愛の家 夕涼みコンサート	愛和病院 愛の家保育園 園内
8月9日(木)	氷川神社～縁結び風鈴イベント	川越氷川神社
8月16日(木)	氷川神社～縁結び風鈴イベント	川越氷川神社
8月27日(木)	ヒューマンフェスタ 2015in 川越	ウエスタ川越大ホール
8月29日(水)	2音大クラシックコンサート 氷川神社～縁結び風鈴イベント	ウエスタ川越大ホール 川越氷川神社
8月30日(木)	氷川神社～縁結び風鈴イベント	川越氷川神社
9月5日(水)	文の京レッジコンサート	文京シビック
9月13日(木)	ふれあいはーとお楽しみ会	江川分館(ふじみ野市)
9月19日(水)	東日本津波遺児募金チャリティー 「第5回 大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル」	ウエスタ川越
9月24日(月)	第229回大塚病院院内ミニコンサート 南古谷チャリティーゴルフ	大塚病院 B1F ホール 大宮国際カントリークラブ
10月2日(火)	川越中央図書館 夜の図書館ミニコンサート	川越中央図書館
10月7日(水)	NEC チャリティーコンサート	NEC ネットズエスアイ 飯田橋本社ビル 1F ロビー
10月14日(水)	ふじみ野市立駒西小学校音楽鑑賞教室	駒西小学校第2音楽室

10月22日(月)	第230回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院 B1F ホール
10月24日(土)	真寿園地域感謝祭	真寿園
10月28日(日)	第227回シビックコンサート	文京シビックセンター
10月30日(火)	入間市立向原中合唱祭招待演奏	入間市民会館
11月4日(日)	小さなこどものためのコンサート	キラリふじみ
11月7日(水)	ふくしま復興祈念特別演奏会 大塚福祉作業所いっぽ祭り	郡山市民文化センター 大塚福祉作業所
11月12日(月)	富士見市中学校音楽祭	キラリふじみメインホール
11月15日(木)	福島県南相馬市応援企画 復興支援チャリティイベント	ユニクス広場
11月26日(月)	第231回大塚病院院内ミニコンサート 警備業協会表彰式	大塚病院 B1F ホール 警備業協会
11月27日(火)	南古谷会食会	東部地域ふれあいセンター
12月6日(木)	オーケストラフェスティバル	ミューザ川崎シンフォニーホール
12月9日(日)	第229回シビックコンサート	文京シビックセンター B2F 区民ひろば
12月10日(月)	第232回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院 B1F ホール
12月23日(日)	サイホクハム クリスマスコンサート	サイホクハム温泉施設ピエー
12月24日(月)	丸広百貨店クリスマスコンサート	6階催事場
1月10日(土)	ニューイヤーコンサート in 南古谷	グランツザール
1月22日(火)	真寿園ミニコンサート	真寿園
1月24日(木)	ふじみ野市新春議場コンサート 自衛隊合同コンサート	ふじみ野市議会本会議場 グランツザール
2月13日(水)	アトレ丸広(川越店) サイホクハム クリスマスコンサート	弦楽四重奏 サイホクハム温泉施設ピエー
2月19日(金)	川越市議場コンサート	川越市役所庁舎 6F
2月21日(木)	キッチンコンサート	大東ガスプチフラム富士見店
2月24日(日)	第231回シビックコンサート	文京シビックセンター B2F 区民ひろば
2月25日(月)	第233回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院 B1F ホール
3月17日(月)	第234回大塚病院院内ミニコンサート	大塚病院 B1F ホール
3月23日(日)	ウインドアンサンブル自主公演	ウェスタ川越大ホール
3月26日(水)	文京さくらまつり	播磨坂

大学・短期大学 学生募集に関する イベント・講習会

日程	イベント	会場
5月16日(土)	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
5月23日(土)	大学 高校生入門 MT/MD	川越キャンパス
	短大 高校生入門 CA	文京キャンパス
5月30日(土)	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
6月13日(土)	大学 高校生入門 MT/MD	川越キャンパス
	短大 高校生入門 CA	文京キャンパス
6月20日(土)	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
6月27日(土)	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
7月12日(日)	短大 オープンキャンパス	文京キャンパス
7月19日(日)	大学 オープンキャンパス	川越キャンパス
7月26日(日)	ピアノセミナー	文京キャンパス

8月2日(日)	大学・短大夏期受験スキルアップ講習会	文京キャンパス
8月3日(月)		
8月4日(火)		
8月22日(土)	声楽セミナー	文京キャンパス
8月22日(土)	短大 オープンキャンパス	文京キャンパス
8月23日(日)	大学 オープンキャンパス	川越キャンパス
9月5日(土)	大学 高校生入門 MT/MD	川越キャンパス
	短大 高校生入門 CA	文京キャンパス
9月19日(土)	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
9月26日(土)	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
10月4日(日)	大学 オープンキャンパス	川越キャンパス
10月10日(土)	大学・短大 入試対策	文京キャンパス
10月18日(日)	短大 オープンキャンパス	文京キャンパス
10月24日(土)	大学・短大 入試対策	文京キャンパス
11月7日(土)	大学 高校生入門 MT/MD	川越キャンパス
	短大 高校生入門 CA	文京キャンパス
11月22日(日)	大学 見学会	川越キャンパス
11月28日(土)	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
12月5日(土)	大学 高校生入門 MT	文京キャンパス
12月12日(土)	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
12月19日(土)	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
12月25日(金)	大学・短大冬期受験スキルアップ講習会	文京キャンパス
12月26日(土)		
12月27日(日)		
2月6日(土)	大学 高校生入門 MT	文京キャンパス
3月5日(土)	大学 高校生入門 MT/MD	川越キャンパス
3月12日(土)	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
3月19日(土)	短大 高校生入門 CA	文京キャンパス
3月26日(土)	短大 キャンパス体験	文京キャンパス

東邦音楽大学・東邦音楽短期大学自己点検・自己評価報告書作成者

○自己点検・自己評価特別検討委員会

大学自己点検・評価部会

短大自己点検・評価部会

委員長

三室戸 東 光

大学自己点検・評価部会委員長

高 橋 幸 雄

短大自己点検・評価部会委員長

國 谷 尊 之

委員 片 岡 啓 子
加 古 勉
遠 山 菜穂美
大 場 文 恵
宮 野 陽 子
粕 谷 宏 美
二 俣 泉
春 日 洋 子
中 島 裕 紀
山 崎 明 美
馬 場 存
市 山 恵 一
川 端 敏 朗
井 上 淳 司
小 林 律 子
岩 間 丈 正
辻 敏 明
関 口 博
中 村 利 博
倉 持 隆 夫
山 岡 香 苗
田 中 健 一
吉 富 浩 二